

うひはたぶみ (初機踏)

H.A.M.A.木綿庵だより
第61号
2022(令和4)年3月26日
(編集発行 梅田正之 090-5042-7775)

『本草綱目拾遺』の翻訳本 — 綿殻の薬効 その3 —

綿殻の薬効について記した和文の文献が、見つかりました。『本草綱目拾遺』の翻訳本です。『新註校定国譯本草綱目』(春陽堂書店、昭和7年初版、昭和52年新註増補版)全15冊のうち、第13,14冊が『本草綱目拾遺』を訳したもので、第13冊に「(棉)殻は膈を治し得る」と記されています(同書329頁)。

木綿庵の畑を利用してくださっているみなさんにご協力をいただき、昨年は和綿の綿殻をたくさん収穫、確保させていただきました。綿殻の薬効を客観的なデータ、資料に基づいて明らかにすることができれば、これまで廃棄されてきた綿殻が、一転して宝物になると考えたからです。

綿殻の薬効については、すでに本誌第55号、第59号に触れさせていただいた通りです。中国語で書かれたサイトには見いだすことができて、和文の文献は見当たりません。中国滞在中に、寺院の僧侶から綿殻の薬効を処方されて症状が改善されたご婦人の経験も、綿殻の薬効を証明する貴重なデータの一つではありますが、「個人的な体験にすぎない」と言われればそれまでです。

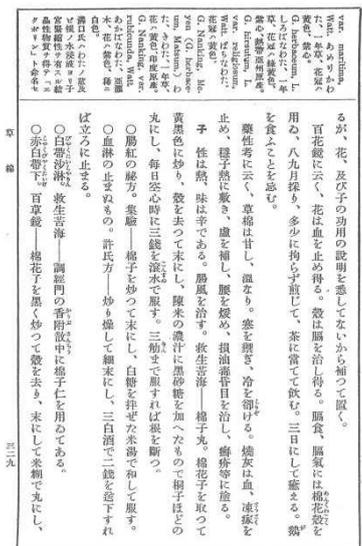
そこで、綿殻の薬効を証明してくださるような先生か、関心を示してくださる研究機関もしくは漢方薬専門店がないものか、いくつかお尋ねしてみました。みなさん誠実にご対応くださいましたが、やはり、無理とのことでした。

ただ、その中で上記の貴重な手がかりをご提供くださったのが、日本薬科大学の山路誠一先生です。以下に山路先生からいただいたメールの一部を、ご本人の了解のもとに引用させていただきます。

「お返事が遅くなり申し訳ありません。お申し越しの件、古典に記載されている文章は私の方でも確認できました(本草綱目拾遺という文献を持ち合わせております)。ただ、このものについての研究となりますと、資金的なものもありますし(1件で100万円ぐらいは最低ラインとして必要)、文献記述の内容から考えても、何を目標とするか(こうした天然素材の研究は、ただやみくもに行うのではなく、作用からある程度の物質を類推してすすめていきます)が、なかなか掴みにくいというのが本音です。…

また木綿殻は食物として使用されるような実績にも乏しいことから、成果が判明しましても、どのように活かすかという点において困難があるように思われます。化学物質が仮に見つかりましても、それが医薬品となる可能性はさらに難しい状況です。綿自体は日本の綿花と西洋や地中海域の綿花でも大分様相が異なることは、本学の園でも栽培していることから承知はしておりますが、実用レベルでの追求となりますと成功の見込みも予想の付かないまま進めることにもなります。以上より、お申し越しの件につきましては希望の持てるお返事を差し上げることは難しい状況です。お役に立てず、申し訳ございません。…

『本草綱目拾遺』は、文字通り『本草綱目』を補う役割を果たした書物で、清代・趙学敏の刊です。本草綱目は初版の金陵本は1596年頃の刊です。一筋の光明を得た思いです。以下、次号につづく。



『本草綱目拾遺』翻訳本 草棉の項

----- Monthly Data -----
【天理やまのべ木綿庵】(問い合わせ件数 令和3年12月27日～令和4年3月23日)
岩手県1、宮城県1、埼玉県1、千葉県1、東京都3、石川県1、岐阜県1、静岡県3、愛知県1、大阪府2、兵庫県2、奈良県3、岡山県1、山口県2、香川県1、愛媛県1、大分県1
【H.A.M.A.木綿庵】(令和3年12月27日～令和4年3月23日)
メールを含む各種相談件数11、綿畑や作業場の見学を兼ねた事前申込済来庵者数5件12名



《綿の栽培記録 2022》－ 令和4年度版 その1－

天理市乙木町における梅田の感覚的観測データです。○=晴れ。△=曇り。×=雨。○/×=晴のち雨。○|×=晴時々雨。△:×=曇り一時雨。12月27△|○、28△|○、29○|△、30△|○:×、31○|△、1月△|○、2○|△、3○、4△、5△|○、6☆/○、7△、8○、9△|○、10○、11×、12○|△、13△、14△、15○|△、16○|△、17△|○、18△|○、19△、20△|○、21△|○、22△/○、23△/×、24○|△、25○|△、26○、27○|△、28△|○、29△|○、30△|○、31△、2月1△|○:×、2△|○、3△|○、4△|○、5△|○、6△|○、7△|○、8△|○、9△/○、10△:×|○、11△/○、12△/○、13△/×、14△/○、15△|○、16○|△、17○|△、18○|△、19△/×、20△|○、21△|○、22△|○、23△、24△|○、25○|△、26○、27○、28○、3月1△/×、2△|×、3△|×、4○|△、5○|△、6△|○、7○、8○、9○|△、10○、11○、12○、13○|△、14×/△|○、15△|○、16○|△、17○|△、18×、19△|×、20△|×、21△|○、22△、23△、24○|△。

いよいよ春雨、菜種梅雨の季節が近づいてきました。そこで、畑がぬかるみはじめる前に綿畝の準備にとりかかるとし、3月21日にまず1号畑と7号畑(試験農場)で、苦土石灰、鶏糞、牛糞堆肥をすきこみました。また、みなさんにご協力をいただき、1号畑に念願の育苗用ビニールハウスが完成しました。

写真は左から、1号畑のビニールハウス、元肥のすきこみを終えた7号畑、にぎわい市場における出品の様子です



《なら歴史芸術文化村のにぎわい市場に、天理やまのべ木綿庵が出品》2022. 3. 21

令和4年3月21日、H. A. M. A. 木綿庵の1号畑のすぐ近く(天理市杣之内町)に、奈良県立「なら歴史芸術文化村」がオープンし、施設内に設けられた「にぎわい市場(農産物等直売所)」の一角に、天理やまのべ木綿庵(H. A. M. A. 木綿庵の販売窓口)も出品スペースをいただくことができました。商品のラインナップは大和機手織り木綿緋ポーチ、同小銭入れ、同印鑑入れ、草木染め手紡ぎ糸、草木染めハンカチ、綿の種、コットンボール、コットンブランチ、木綿庵特製スピンドル、綿殻などです。

施設敷地内にはにぎわい交流棟、文化財修復・展示棟、芸術文化体験棟、情報発信棟のほか、屋外体験ゾーン、宿泊施設「ホテル：フェアフィールド・バイ・マリオット・奈良天理山の辺の道」があります。

【綿の加工の作業記録】 (梅田 1人の作業量)

- 糸車を用いての糸紡ぎ量 (和綿：令和元年, 2019年産。丹羽正行氏による打ち綿)
令和3年12月27日～令和4年3月23日 (作業実日数31日) 糸の総量107.3g (28.6匁) 総時間6時間32分
※1分間≒0.274g 1時間≒16.4g (4.4匁)

【研修等の記録】

- 令和4年2月20日 「道の駅なら歴史芸術文化村 出品者説明会」(天理市杣之内町)に参加
- 令和4年2月22日 奈良県主催「令和3年度農産物直売所出荷者研修会」(橿原市NAFIC)に参加
- 令和4年2月26日 木綿庵1号畑に建設中の育苗用ビニールハウスが完成(間口6m×長さ11m)
- 令和4年3月11日 造園会社(奈良市)での庭木の手入れ等の手伝い(パート)を終了
- 令和4年3月13日 「Hello! Super Collection 超コレクション展」(大阪中之島美術館)見学、鑑賞
- 令和4年3月17日 「第13回相楽木綿作品展」(京都府相楽郡精華町：けいはんな記念公園)会場当番。
- 令和4年3月18日 「なら歴史芸術文化村 内覧会」(天理市杣之内町)に参加
- 令和4年3月21日 なら歴史芸術文化村がオープン。にぎわい交流棟に天理やまのべ木綿庵が出品
- 令和4年3月24日 農産物出荷会社の天理農園で、イチゴの収穫・苗管理の手伝い(パート)をはじめる